

<プレスリリース>

2017年3月14日

報道関係者各位

CYBERDYNE 株式会社
ジャミール商事株式会社

CYBERDYNE 社と Abdul Latif Jameel 社がビジネスパートナーシップを締結 ～日本発の革新的な最先端医療技術であるサイバニクス治療をサウジアラビアに展開～

CYBERDYNE 株式会社(本社:茨城県つくば市、代表取締役社長:山海嘉之、以下サイバーダイン社)と アブドゥル・ラティフ・ジャミール社 (Abdul Latif Jameel、本社:サウジアラビア ジェッダおよびアラブ首長国連邦ドバイ、会長兼 CEO:モハメッド・ジャミール)は、サイバーダイン& アブドゥル・ラティフ・ジャミール ビジネスパートナーシップを締結しましたので、お知らせ致します。

サウジアラビア王国は、世界でも有数の交通事故の多発により、多くの脊髄損傷の後遺症患者を抱えています(サウジアラビア保健省のサイトによると、2015年で新規に1万3千人。年間5千人である日本の倍以上になります)。この状況は、2016年4月に「サウジアラビア・ビジョン2030」を公表して国民生活の改善を目指す同国にとって、重大な社会問題となっています。

そのため、サウジアラビア有数の国際企業であり、同国内に医療機関を有するアブドゥル・ラティフ・ジャミール社とサイバーダイン社は、日本発の革新的な最先端医療技術であるサイバニクス治療をサウジアラビアに展開し、サウジアラビアの健全な社会発展に貢献することを目的として、以下を締結いたしました。

- 1)アブドゥル・ラティフ・ジャミール社の医療機関への「HAL®医療用下肢タイプ」(以下、「医療用HAL」)によるサイバニクス治療の運用
- 2)サウジアラビア国内の連携医療機関への医療用HALの普及
- 3)サウジアラビアの障害のある方が、医療用HALによるサイバニクス治療を受けられるための社会保障制度の整備



医療用HALを用いたサイバニクス治療のイメージ(写真提供:ドイツ Cyberdyne Care Robotics社)

<サイバーダイネ社について>

サイバーダイネ社は、2004年に筑波大学発ベンチャーとして設立されて以来、サイバニクス技術(*)を活用した革新的サイバニックシステム(サイバニックデバイス、サイバニックインタフェースなど)により、社会が直面する様々な課題を解決することを目指し、研究開発から社会実装に至るまで一貫して推進しています。医療、福祉、生活(職場環境を含む)分野での事業推進を行い、主力製品のロボットスーツHAL®は、医療・福祉の分野のみならず、介護や重作業分野等にも幅広く展開されています。また、人工知能・環境認知機能を搭載した搬送ロボット・清掃ロボット、腰部負荷を低減するHAL 腰タイプ、小型の単関節HAL、動脈硬化度・不整脈計測用バイタルセンサーなど、次々と新製品開発を進めています。詳細については、<http://www.cyberdyne.jp/> をご参照ください。

(*)サイバニクス:サイバネティクス、メカトロニクス、インフォマティクスを中心に、脳・神経科学、IT(情報技術)、ロボット工学、心理学、法学、倫理、経営などを融合複合した新しい学術領域で、筑波大学大学院 山海嘉之教授(当社代表取締役社長)が創成。

<ジャミール商事株式会社について>

ジャミール商事株式会社は、1996年にアブドゥル・ラティフ・ジャミールの日本法人として設立されました。以来、中東および北アフリカ市場における主にトヨタグループの自動車事業を展開しています。2005年には、レクサス販売店を東京・練馬に開設し、日本国内にも事業を拡大しました。2013年以降は、日本の優れた技術や製品を中近東、北アフリカ、トルコ及びアジアに紹介し、また、日本の製造工場を誘致するなどの新規事業を開始することで、日本企業やアジア企業との連携により、アブドゥル・ラティフ・ジャミール本体が基盤とするMENAT(中東、北アフリカおよびトルコ)地域やアジア地域に幅広く日本の製品を輸出する総合商社を目指しています。詳細については、<https://alj-japan.co.jp/>(日本語)をご参照ください。

<本件に関するお問い合わせ先>

ジャミール商事株式会社

担当: 蜂谷、瀧上

TEL: 03-5224-5070

E-mail: info@alj-japan.com

CYBERDYNE株式会社 コーポレート部門 広報/IR

担当: 葉山、宇賀

TEL: 029-869-9981

E-mail: media@cyberdyne.jp(広報)、ir@cyberdyne.jp(IR)